

4 平成30年度予算における「かわさき10年戦略」の主な事業

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、30年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

～自然災害への的確な備えや日常生活を安心して過ごせる環境づくりの推進～

国土強靱化・地震防災戦略の推進

1,980,286千円

(+309,948千円)

大規模な災害が発生しても市民の生命や財産を確実に守るため、各種防災計画の推進、防災行政無線等の情報伝達機能の強化等により防災対策を図ります。また、自らの生命は自ら守る意識の向上や、災害時に地域で助け合えるしくみづくりを行い、地域における自助・共助（互助）による防災・減災の取組を推進します。

★ 九都県市合同防災訓練の実施 (新)

- ・九都県市間の相互連携の強化と、全市を挙げた防災意識の向上（21年度以来の本市での実施）

★ 地域防災力の強化に向けた取組の推進

- ・各区複数回の総合防災訓練の実施
- ・全市的な防災啓発
- ・自主防災組織への支援

★ 防災行政無線の再整備

- ・各種防災無線及びシステムの再整備による災害通信体制の機能向上



総合防災訓練の様子



タブロイド版防災広報誌

(新)…新規事業 (拡)…拡充事業

※金額の下段かっこ書きは対前年度増減額

まち全体の耐震化など

639,643 千円

(△124,859千円)

民間建築物等の耐震化の推進、密集市街地における不燃化建替えの推進等により、まち全体の耐震化などを図ります。

★ 民間建築物等の耐震化の推進

- ・ 通行障害建築物をはじめ特定建築物等の耐震診断や耐震改修工事への助成

★ 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進

- ・ 条例で不燃化が定められた建築物の新築工事や老朽建築物の解体工事等への助成

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

338,848 千円

(△124,560千円)

本庁舎等について、市民の安全で安心な暮らしを確保するため、災害対策活動の中核拠点としての耐震性能を有する新庁舎への建替えの取組を進めます。

★ 本庁舎等建替えの取組

- ・ 新本庁舎の整備に向けた実施設計

本庁舎等建替えの取組

取組の経緯

- ◆旧本庁舎（昭和13年2月竣工、平成29年9月地上部分解体済）は、必要とされる耐震性能を有さず、大規模地震で倒壊する危険性がありました。
- ◆床面積の不足から本庁機能が周辺賃貸ビル等に分散し、多額の賃借料が生じています。
 - 災害対策活動の中核拠点として機能する耐震性能を確保するための建替えを決定
 - 機能性や経済性、環境、文化、まちづくりなどにも配慮した新本庁舎の整備を推進

新本庁舎の概要と特徴

○建物概要

延床面積	約63,200㎡
階数	地下2階、地上25階+免震層
高さ	約116m
駐車場、駐輪場	駐車約160台／駐輪約80台



新本庁舎完成イメージ

○概算事業費 約440億円

○災害に強い庁舎

- ◆免震構造など高度な構造技術を導入します。
- ◆商用電源が途絶した場合でも、都市ガス（中圧ガス）を利用した非常用発電機等による自家発電により、通常業務必要電力の約90%をカバーします。

今後のスケジュール（予定）

- ◆30年度 実施設計、建築工事の入札手続きの着手
- ◆31年度 着工
- ◆34年度 新本庁舎完成（35年度 第2庁舎跡地の広場完成）

上下水道機能の安定確保

21,771,009 千円

(+3,535,833千円)

大規模災害時でも必要となる水道と下水道がしっかりと機能するよう、施設の耐震化や老朽化した水道管路・下水管きよの更新を効率的に行うとともに、避難所となる小中学校等に応急給水拠点を整備します。

★ 上下水道施設等の耐震化

(31年度までに川崎駅以南地域の重要な
下水管きよの耐震化を完了)

★ 応急給水拠点の整備

- ・ 既設給水栓を利用した開設不要型応急給水拠点の整備



気候変動への対応

2,237,643 千円

(+92,722千円)

地球温暖化対策の推進や大雨による水害を防止する施設の整備等により気候変動への対応を図ります。

★ 地球温暖化対策の推進

★ 五反田川放水路の整備

- ・ 樋門築造工事及び分流部施設整備工事の推進

★ 大師河原貯留管の整備

- ・ 浸水対策と合流改善の両方の機能を兼ね備えた貯留管の整備 (30年度完成予定)



消防力の強化・救急医療体制の強化

1,813,648 千円

(Δ1,021,448千円)

消防署所の改築や救急救命士の養成、大型消防艇建造等により市民の生命を守る力の強化を図ります。

★ 消防署所の整備 (新)

- ・ 宿河原出張所の改築による、消防隊・救急隊の活動拠点の整備

★ 救急救命士の養成 (拡)

- ・ 32年度宿河原出張所への救急隊増隊に向けた救急救命士の養成
(30年度王禅寺出張所に救急隊を1隊増隊)

★ 消防艇の整備

- ・ より高度な消防活動を実現する大型消防艇 (100トン級) の建造
(31年度完成予定)

安全対策によるまちの価値の向上

791,383 千円

(+9,406千円)

多様な主体との協働・連携による防犯意識の高揚・啓発、自主防犯活動団体への支援を行い、犯罪を未然に防ぐとともに、鉄道事業者と連携した鉄道駅や駅周辺の安全対策を進めることにより、安全・安心なまちづくりを進めます。

★ 防犯カメラの設置支援

★ ESCO 事業による LED 防犯灯の設置等の推進

- ・防犯灯の計画的な維持管理や新規設置の実施

ESCO事業(省エネルギー改修事業)とは…

事業者が、省エネルギーを目的として、庁舎の供用に伴う電気、燃料等に係る費用について、当該庁舎の構造、設備等の改修に係る設計、施工、維持保全等に要する費用の額以上の額の削減を保証して、当該設計等を包括的に行う事業

(環境配慮契約法より)

★ かわさき安全・安心ネットワークシステムを活用した取組

- ・地域の犯罪情報等の一元化及び迅速な情報配信の実施

★ 鉄道事業者と連携した緊急安全対策等の推進

- ・鉄道主要駅におけるホームドアの設置に対する支援
- ・武蔵小杉駅及び駅周辺の交通機能強化の推進

(混雑緩和対策の効果の調査・検証)



東急東横線武蔵小杉駅のホームドア

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

～子どもを育てやすい環境づくり・

地域全体で子育てを支える環境づくりの推進～

待機児童解消の継続

61,699,358 千円

(+6,593,889千円)

待機児童解消の継続を図るため、認可保育所等の整備のほか、民間保育所職員等への総合的な処遇改善の推進、認可外保育施設への支援の充実、保育士確保対策の充実等、あらゆる手法により取組を推進します。

★ 認可保育所受入枠の拡大 ④

323 か所 (25,575 人) → 349か所(27,235人)

★ 地域型保育事業による受入枠の拡大 ④

60 か所 (706 人) → 64か所(792人)

★ 民間保育所職員等への総合的な処遇改善の推進

- ・経験年数 7 年目以上の職員を対象とした、国の処遇改善が的確に反映されるための対策の実施 ④
- ・保育士等キャリアアップ研修の実施 (6分野) ④
- ・処遇改善等加算の職員給与への反映に係る確認手法の構築 ④

★ 定員を超えた受入に対する保育補助者雇上補助の拡充 ④

- ・低年齢児の超過受入に対する保育補助者雇上要件の緩和と補助基準の充実

★ 年度限定型保育事業の継続実施 ④

16 か所 (90 人分) → 16か所(128人分)

★ 認可外保育施設への支援の充実

助成対象者 4,322 人分 → 4,653人分

- ・川崎認定保育園職員の処遇改善及び利用者への保育料補助の実施 ④
- ・認可化移行支援の実施 ④

★ 幼稚園における保育ニーズへの対応 ④

- ・認定こども園 4園 (305 人) → 7園 (455 人)

※保育認定に限る

- ・保育所並みの預かり保育の推進 2園→6園



★ 保育士確保対策の充実 ④

- ・就職相談会のマッチング機能の拡充、及び遠隔地の学生等の誘致強化
- ・保育士資格取得支援に関する事業の強化

★ 認可保育所等の整備の推進

**2,011人分 (保育所33か所1,840人分、
小規模保育事業9か所171人分)**

- ・民間保育所施設整備費等補助金の補助単価の改定 ④

※上記の新規整備のほか、川崎認定保育園の認可化・小規模保育事業化や既存保育所の定員増等により、31年度に向けて2,350人分の受入枠を拡大します。

小児医療費助成制度の充実

4,685,644 千円

(+ 88, 336 千円)

子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院に係る医療費の自己負担分を助成します。

また、本制度の運用状況に関する分析及び検証を進め、入院医療費助成（中学校3年生まで）について、所得制限廃止に向けた取組を推進します。

★ 入院医療費助成の所得制限廃止に関する取組

- ・入院医療費助成（中学校3年生まで）の所得制限廃止に向けた取組の推進



子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

7,125,071 千円

(+ 382, 982 千円)

子どもが健やかに安心して育つよう、児童虐待の未然防止や支援が必要な家庭・子どもへの専門的な支援体制を充実します。

★ 児童養護施設入所児童等への学習・進学支援の実施 (新)

- ・競馬競輪事業益金等を財源とする「子ども・若者応援基金」を活用した、児童養護施設などで生活する子どもへの学習・進学等の支援の実施

★ (仮称) 児童相談システムの開発・導入

- ・児童相談所及び区役所・支所のネットワーク化

★ 小中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒への支援 (拡)

- ・一人ひとりの医療的ケアの状況に応じた看護師の訪問や配置



オレンジリボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

健康給食の推進

4,755,298 千円

(+ 795, 343 千円)

将来を担う児童生徒が、生涯健康な生活を送るために、小中9年間にわたる健康給食の取組を進めるとともに、学校給食を活用したさらなる食育の充実を推進します。

★ 川崎らしい特色ある健康給食の実施

- ・野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった健康的でおいしい給食の提供

- ・(株)タニタとの包括協定に基づく健康プログラムの実施

★ 小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進



「かわさきそだち」の
野菜を取り入れた献立

地域の寺子屋の推進

61,696 千円

(+12,881千円)

地域ぐるみで子どもの学習や体験活動をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めます。

★ 地域の寺子屋の開講 ㊦

36か所 → **77か所**



地域の寺子屋学習支援の様子

「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

614,243 千円

(+70,790千円)

子どもたちの生涯にわたる学びや暮らしの基礎となる「生きる力」を伸ばし、学ぶ意欲や態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育みます。

★ 「キャリア在り方生き方教育」の推進

- ・全校での将来の社会的自立に必要な能力・態度と共生・協働の精神の育成

★ 次期学習指導要領を踏まえた英語教育の充実

- ・小学校における英語の教科化等に対応した指導体制の整備 **新**
- ・ALT（外国語指導助手）の増員 **㊦**

81人 → **91人**

★ 学校図書館の充実 ㊦

- ・小学校へ学校司書を配置

21校 → **28校**



学校施設の環境整備

19,492,996 千円

(+14,213,484千円)

学校施設長期保全計画に基づく学校施設の改修により、安全で快適な教育環境を確保するとともに、早期に学校トイレの快適化を進めます。また、児童生徒の増加に対応するため、校舎の増築や小学校新設に向けた取組を推進します。

★ 学校施設長期保全に向けた取組

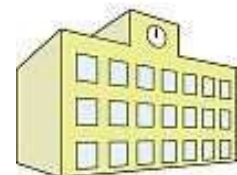
校舎 **30校**
体育館 **19校**

★ 学校トイレ改修の加速化 ㊦ **30校**

(34年度までに全市立学校のトイレの快適化を実施)

★ (仮称)小杉小学校新設工事の実施(31年度開校)

★ 新川崎地区における小学校新設に向けた取組



戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

～健康寿命の延伸と安心して暮らし続けられるしくみづくりの推進～

総合的なケアの推進

6,126,438 千円

(△193,384千円)

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく取組を推進します。また、介護サービス、障害福祉サービスの基盤整備に向けた取組を推進します。

★ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

- ・地域包括ケアシステム連携協議会の拡大や、地域みまもり支援センターにおける地域ネットワークの構築など地域づくりに向けた取組

★ 介護サービス基盤の整備

- ・特別養護老人ホームの整備（30年度2か所完成予定）
- ・特別養護老人ホームの入居申込者管理システムの整備 ④

★ 障害福祉サービス基盤の整備

- ・特別養護老人ホームに併設する障害者短期入所事業所の整備

★ 市立看護短期大学の四年制大学化に向けた取組 ⑤

- ・四年制大学の開校に向けた計画の策定（34年度開校予定）

健康寿命の延伸に向けた取組

2,422,091 千円

(△4,580千円)

健康的な状態で長生きができるよう、国民病ともいふべき「がん」や生活習慣病を予防するため、がん検診等の受診率向上の取組を推進するとともに、介護サービスの質を評価する取組を実施します。

★ がん検診の受診率向上に向けた取組

★ かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

- ・要介護度等の改善・維持の成果を上げた介護サービス事業所にインセンティブを付与する取組の実施



介護予防いきいき大作戦
マスコットキャラクター「長寿郎」

超高齢社会を見据えた住宅施策

1,991,680 千円

(△2,175,122千円)

誰もが安心して暮らせる住まいの確保等を図るため、住宅の質の向上や既存住宅の再生・利活用を促進するとともに、高齢者等に適した住宅の供給と入居支援、地域包括ケアシステムと連携した市営住宅の活用等を推進します。

★ 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進

- ・子育て世帯の定住促進に向けた住宅施策の推進

★ 民間賃貸住宅等を活用した居住支援

★ 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムと連携した取組

- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく建替えや敷地及び建物の活用推進



久末住宅完成イメージ

コンパクトで暮らしやすいまちづくり

631,862 千円

(**△142,512千円**)

鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全を確保するとともに、地域の特性やニーズを踏まえたコミュニティ交通の支援や路線バスの充実等を行います。

★ JR南武線の駅アクセス向上に向けた取組

- ・稲田堤駅（30年度着工）及び津田山駅（31年度完成予定）の橋上駅舎化に関する取組
- ・中野島駅の暫定的な臨時改札口の開設（30年度予定）



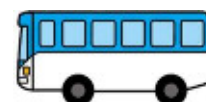
JR南武線稲田堤駅完成イメージ

★ コミュニティ交通の支援

- ・コミュニティ交通の導入に向けた支援（実施地区：白幡台、岡上西など）
- ・本運行地区（高石、長尾台）における事業継続に向けた取組の支援
- ・高齢者外出支援補助金の増額 ④

★ 市バスネットワークの充実

- ・主要鉄道駅等へのアクセス向上などに関する取組



戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

～広域拠点・地域生活拠点等の整備による

鉄道駅を中心とした便利で快適な暮らしの実現など～

川崎駅周辺の整備

3,032,372 千円

(**△2,813,167千円**)

民間活力を活かしながら、本市の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備等を進めます。

★ 京急川崎駅周辺のまちづくりの推進

- ・民間開発の誘導と都市基盤の再編整備の推進

小杉駅周辺の整備

2,058,837 千円

(Δ 136,687千円)

民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅・商業施設・公共施設等がコンパクトに集積した広域拠点の形成を図ります。

- ★ 川崎市コンベンションホールの運営
(30年4月供用開始)
- ★ 小杉町3丁目東地区市街地再開発事業の推進
(31年度完成予定)



小杉町3丁目東地区
再開発事業完成イメージ

新百合ヶ丘駅周辺の整備

5,286 千円

(+3,021千円)

横浜市営地下鉄3号線延伸の進捗など周辺環境等の変化を見据えたまちづくりを推進します。

- ★ 新百合ヶ丘駅周辺まちづくりの方向性の検討

地域生活拠点等の整備

7,442,206 千円

(+1,873,176千円)

鉄道駅を中心とした商業、業務、都市型住宅等の機能の集積、民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅や商業施設などがコンパクトに集約した都市拠点の形成を図ります。

- ★ 登戸土地区画整理事業の推進
- ★ 鷺沼駅前地区の再開発事業の推進
 - ・鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

12,777,289 千円

(Δ 2,104,138千円)

都市計画道路等の整備や連続立体交差事業の推進等により道路交通の円滑化や効率的・効果的な渋滞緩和を図ります。

- ★ 都市計画道路等の整備
- ★ 緊急渋滞対策の推進
- ★ 国道357号などの国直轄道路の整備促進
- ★ 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進
 - ・産業道路の立体交差化(30年度完了予定)
- ★ JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進
- ★ (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備
 - ・(仮称)等々力大橋の整備推進
 - ・鶴見川に架かる末吉橋の架替工事着手 (拓)



鉄道ネットワークの形成

121,344 千円

(△33,022千円)

鉄道ネットワークの形成に向け、鉄道事業者等と連携した取組を推進します。

★ 横浜市営地下鉄3号線延伸に関する調査の実施

緑と水の循環形成

990,377 千円

(+20,546千円)

多摩川や多摩丘陵などの自然や農地を保全するとともに、都市公園や緑地などの整備を進め、うるおいのある豊かな市民生活の実現を図ります。

★ 多摩川の魅力を活かす取組の推進

★ 大規模な公園緑地の整備

- ・更なる民間活力導入に向けた取組の推進

★ 魅力的な公園の整備

★ 農地の保全・「農」とのふれあいの推進



公共空間の有効活用

2,000 千円

(皆増)

都市拠点整備の進展をとらえ、道路などの公共空間を有効活用し、にぎわいの創出を図ります。

★ 川崎駅周辺の公共空間の有効活用に向けた取組の推進 (新)

- ・川崎駅周辺におけるオープンカフェ等の社会実験の実施



道路空間の有効活用の事例

持続可能な循環型のまちづくり

5,660,555 千円

(△837,816千円)

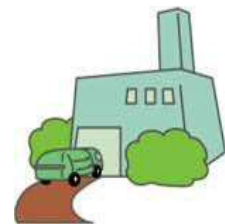
より一層の環境負荷の低減を図るため、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）に取り組みながら、発生した廃棄物を適正に処理するため、処理施設を安定的に稼働させるとともに、長期的な視点で適切な更新を進めます。

★ 資源化処理の推進

★ ごみの適正かつ安定的な焼却処理

★ 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施

- ・橋処理センター整備事業の推進（35年度稼働予定）



戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

～先端技術等による環境と産業が調和したまちづくりの推進や、

中小企業や商店街を応援する取組～

国際化に対応したイノベーションの推進

3,397,200 千円

(+2,889,501 千円)

様々な分野におけるイノベーション（革新）を推進するため、多様な主体による連携を図るとともに、イノベーション拠点の整備を推進します。

★ ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進

- ・ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営支援
- ・環境ビジネスの国際展開の支援
- ・ウェルフェアイノベーションフォーラムによるプロジェクトの創出



ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

★ オープンイノベーションの推進

- ・「新川崎・創造のもり」における新たな産学交流・研究開発施設（AIRBIC）の整備（31年1月供用開始予定）



AIRBIC完成イメージ

★ Wi-Fi環境の整備などICT施策の推進

- ・「かわさきWi-Fi」の利用エリアの拡大
- ・「かわさきアプリ」によるタイムリーな情報発信



「かわさきアプリ（ポータル）」のトップ画面

臨海部の活性化

16,384,356 千円

(+5,940,254 千円)

力強い産業都市づくりの中心的な役割を担う川崎臨海部の活性化に向け、「臨海部ビジョン」に基づき、高付加価値で国際競争力の高い企業活動を支える操業環境の整備や、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）におけるイノベーションの創出、戦略的な土地利用の誘導などの取組を推進します。さらに、産業活動を支える交通や港湾機能の強化に取り組みます。

★ 臨海部の競争力強化

- ・「臨海部ビジョン」に示す「目指す将来像」の実現に向けた取組

★ 国際戦略拠点の形成・マネジメント

- ・キングスカイフロントにおけるイノベーションの創出や交流・連携促進など拠点マネジメントの推進
- ・キングスカイフロントの高水準・高機能なイノベーション拠点整備

★ 戦略拠点の形成推進 ④

- ・高度かつ最先端の研究開発や価値の創出を行うエリア形成に向けた取組
- ・新産業創出拠点の形成に向けた取組



空から見た川崎臨海部と羽田空港

★ 交通機能の強化 ④

- ・基幹的交通軸や交通結節点の整備に向けた取組
- ・新たな交通ネットワーク形成に向けた取組

★ 羽田連絡道路の整備

- ・キングスカイフロントと羽田空港を結ぶ羽田連絡道路の整備の推進

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備

★ 港湾物流機能の強化

- ・東扇島堀込部の土地造成に向けた取組 ④
- ・川崎港コンテナターミナルの利用促進・活性化に向けた取組

水素社会の実現

11,500 千円
(△500千円)

水素社会の実現に向けて、「川崎水素戦略」に基づき、臨海部における水素供給ネットワークの構築、多分野にわたる水素利用の拡大及び水素に対する社会認知度向上のための取組を推進します。

★ リーディングプロジェクトの推進

- ・国際的な水素サプライチェーンの構築実証※
- ・再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム(H₂One)実証事業
- ・使用済みプラスチック由来低炭素水素を活用した実証事業
- ・燃料電池フォークリフトの導入実証等



使用済プラスチック由来低炭素水素をエネルギー利用する水素ホテル
(川崎キングスカイフロント東急REIホテル)

※水素サプライチェーン：水素の「製造、貯蔵・輸送、利用」までの一連の流れ

★ 川崎水素ネットワークの構築

- ・水素パイプラインの活用等による新たな水素ネットワークの構築に向けた取組の推進

中小企業の支援・商業の振興

22,886,416 千円

(△1,543,682 千円)

中小企業活性化条例に基づき、地域経済の発展に大きく貢献する中小企業の技術力・製品開発力の強化や販路拡大・新事業創出の支援等、中小企業の活性化に向けた取組を行います。

★ 市内中小企業・商業等の支援

- ・経営改善や成長促進等、経営課題に即した支援
- ・研究開発型ベンチャーを対象とした起業・創業プログラムの実施 (新)
- ・多様な主体との連携による起業・創業支援のワンストップ拠点の設置 (新)
- ・市内の準工業地域及び工業地域における、中小製造業者の工場等の新增設に対する支援
- ・他の自治体等との連携による知的財産を活用した新製品開発等の支援 (拡)

★ 中小企業の労働環境の改善

- ・中小企業の「働き方改革」推進に向けた支援 (新)
- ・中小企業の福利厚生充実等による勤労者福祉施策の推進

都市農業の振興

19,157 千円

(△1,762 千円)

持続的・自立的な農業経営を支援するため、更なる地産地消の推進や農業経営の高度化及び連携による新たな農業価値創造の取組等を推進します。

★ 都市農業振興施策の推進

- ・認定農業者等に対する経営基盤強化への支援
- ・企業や大学等、多様な主体との連携による都市農業活性化の取組



かわさきそだちPRキャラクター
菜果(さいか)ちゃん

就業の支援

68,826 千円

(△3,442 千円)

雇用のミスマッチ、若年無業者、女性の再就職等の課題に対応するため、雇用情勢等に合わせて、求職者のニーズに応じた就業支援を行います。

★ 総合的な就業支援の実施

- ・キャリアサポートかわさきによる就業支援
- ・コネクションズかわさき等による若年無業者の職業的自立支援
- ・専門相談員による労働相談の実施
- ・女性向け就業支援の実施



戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした

スポーツ・文化芸術の振興、「心のバリアフリー」の推進など～

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

1,053,035 千円

(+586,557千円)

東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機として、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりのためにかわさきパラムーブメント第2期推進ビジョンに基づく取組を推進します。また、大会に向けて事前キャンプの受入準備やホストタウンの取組を推進します。さらに、若者文化の発信のためにイベントの支援や環境づくりに向けた取組を推進します。

★ 大会を契機とした「かわさきパラムーブメント」の推進 ⑧

・理念の浸透に向けた事業展開

イベントの開催やロゴを活用したプロモーションなどの戦略的な広報により、多様な主体の参加を得ながら「かわさきパラムーブメント」の考え方を広く市民や事業者に向けて発信し、理念浸透を図ります。

・多様な主体の連携による推進

「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」に基づき、各種プロジェクトの拡充・新規展開を図るほか、市民活動の場を構築し、市民参加によるプロジェクトを展開します。

・JOC(日本オリンピック委員会)パートナー都市関連事業

JOCとのパートナー都市協定に基づき、オリンピックの価値などを子ども達に伝えるオリンピック教室を開催します。

・事前キャンプ受入れ準備やホストタウンの取組の推進

英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプの受入れ準備のために、関係機関との協議等を行います。また、英国を相手国とするホストタウンの取組として、英国との交流やおもてなし事業を進めます。

上記のほかにも、障害の有無に関わらず誰もが文化芸術に取り組める環境づくり(8,217千円)などを推進することで、「かわさきパラムーブメント」を展開していきます。

★ 事前キャンプ受入れに向けた等々力陸上競技場の改修 ⑨

・英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ受入れに向けた等々力陸上競技場のトラック改修等の実施

★ 若者文化の発信 ⑨

- ・若者文化の発信のための環境づくりに向けた検討・調整
- ・世界ユースブレイキン選手権の支援、ダンスやBMX、スケートボード等のストリートカルチャーやエクストリームスポーツなどが結集した川崎発の世界的な大会の開催

★ 道路標識の英語表記の改善等 ⑨

- ・様々な来訪者にとって分かりやすい道路標識の英語表記の改善等の推進



ブレイキン（ブレイクダンス）

スポーツ・文化芸術の振興

5,649,798 千円

(+3,760,621 千円)

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

★ スポーツのまちづくりの推進

★ 音楽や映像のまちづくりの推進 ⑨

- ・ミュージア川崎シンフォニーホール
の舞台設備等の改修工事の実施

★ 等々力緑地再編整備の推進

- ・硬式野球場整備の推進
- ・陸上競技場第2期整備に向けた取組の推進

★ 橘樹官衙遺跡群の保存・整備・

活用の推進

- ・「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」の策定
- ・「国史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」
(29年度策定)に基づく史跡指定地の
公有地化の推進



等々力硬式野球場完成イメージ

協働により、心がつながるコミュニティづくり

1,932,023 千円

(+327,155 千円)

誰もが暮らしやすく支えあえるコミュニティづくりのため、様々な主体の協働・連携のしくみをつくり、高齢者等が積極的に社会に参加できる環境づくりを進めます。

★ 多様な主体による協働・連携のしくみづくり

- ・協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」の運営、プロボノを活用した人材マッチング事業の実施
- ・「(仮称) 今後のコミュニティ施策の基本的考え方」の策定 (拓)



つなぐっとKAWASAKI

★ 動物を通じていのちの大切さを伝える取組

- ・動物愛護センターの再編整備
(31年2月開所予定)



新動物愛護センター完成イメージ

★ 多世代交流の場づくり (拓)

- ・いこいの家とこども文化センターの連携モデル事業の充実

★ 町内会・自治会の活動を支える取組の推進

シティプロモーションの推進

291,676 千円
(+54,485 千円)

市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、地域資源を磨き上げるだけでなく、新たな地域資源の発掘・創出に取り組むとともに、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

★ 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

- ・ブランドメッセージ等を活用した戦略的な情報発信

★ 川崎の特性を活かした観光の振興

- ・観光協会や民間事業者等と連携した観光振興の促進
- ・外国人観光客の誘客推進や受入体制の充実
- ・住宅宿泊(民泊)事業の適正な運営の確保による観光客の来訪・滞在の促進 (新)



かわさき駅周辺マップ
(Enjoy Kawasaki Station Area!)

★ クルーズ船(ホテルシップ等)の誘致 (拓)

- ・誘致に向けた岸壁など受入施設の安全評価等の実施



戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」 をめざす

～市役所全体の質的向上と持続可能なまちづくり～

行財政改革の推進

市民満足度の高い行財政運営に向け、必要な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報の確保等を行い、総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進するため、市民サービスの質的改革や職員の意識改革等による市役所内部の質的改革などの行財政改革を進めます。詳細は、29ページ「5 行財政改革の取組」を参照してください。

市役所内部の働き方・仕事の進め方改革を推進しています

○働き方・仕事の進め方改革について

- ◆多様化するニーズや地域の課題を的確に把握し、市民により良いサービスを効果的に提供するためには、職員一人ひとりがワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現し、多様な人材が活躍できる職場づくりが必要となります。
- ◆平成29年3月に策定した「川崎市働き方・仕事の進め方改革推進プログラム」に基づき、全庁的に次の取組を検討・推進しています。

○取組の概要

- ◆長時間勤務の是正、業務改革・改善などの「職員の働く環境の整備と意識改革」と、女性活躍推進・次世代育成支援、障害者雇用の拡大などの「多様な働き方の推進」に関する取組を総合的に推進し、もって、市民サービスの向上につなげることを目指します。

○取組の例

- ◆完全定時退庁日（水曜日）の設定、午後8時以降の時間外勤務の原則禁止
- ◆外部の専門的知見も活用した業務分析・改善
- ◆庁内総務事務の民間委託等による集約化に向けた検討
- ◆テレビ会議の利用等、ICT活用の推進
- ◆モバイルワーク・テレワークの導入に向けた検討



テレビ会議の開催

健全な財政運営

少子高齢化の進展を見据えて、将来の負担を適正な水準に保ちながら、必要な市民サービスの提供と投資を行います。詳細は、139ページ「今後の財政運営の基本的な考え方」を参照してください。